



メピレックス® Ag

| | 製品番号 | ドレッシングサイズ cm | 保険算定面積 cm ² | 枚/箱 |
|-----|--------|--------------|------------------------|-----|
| 標準型 | 287110 | 10×10 | 100 | 5 |
| | 287310 | 15×15 | 225 | 5 |
| | 287410 | 20×20 | 400 | 5 |
| | 287510 | 20×50 | 1,000 | 2 |
| 楕円 | 287210 | 10×20 | 200 | 5 |

注意

臨床的創感染を有する患者には慎重に使用してください。
「使用方法及び使用上の注意」等については添付文書をご参照ください。

販売名：メピレックス Ag
高度管理医療機器
抗菌性創傷被覆・保護材
承認番号：22500BZX00439000

【保険適用】

種類：特定保険医療材料
分野名：皮膚欠損用創傷被覆材
機能区分：皮下組織に至る創傷用・標準型
適用期間：2週間を標準として特に必要と認められた場合については3週間を限度とする
保険請求：償還価格による

【使用目的又は効果】

皮下脂肪組織までの創傷(III度熱傷を除く)に対する「創の保護」、「湿潤環境の維持」、「治癒の促進」、「疼痛の軽減」を目的とする。
本製品は感染を引き起こす可能性が高く滲出液を伴う創傷に使用すること。

*再使用禁止

*本製品または銀などの本製品構成成分にアレルギーを有する患者には使用しないこと。

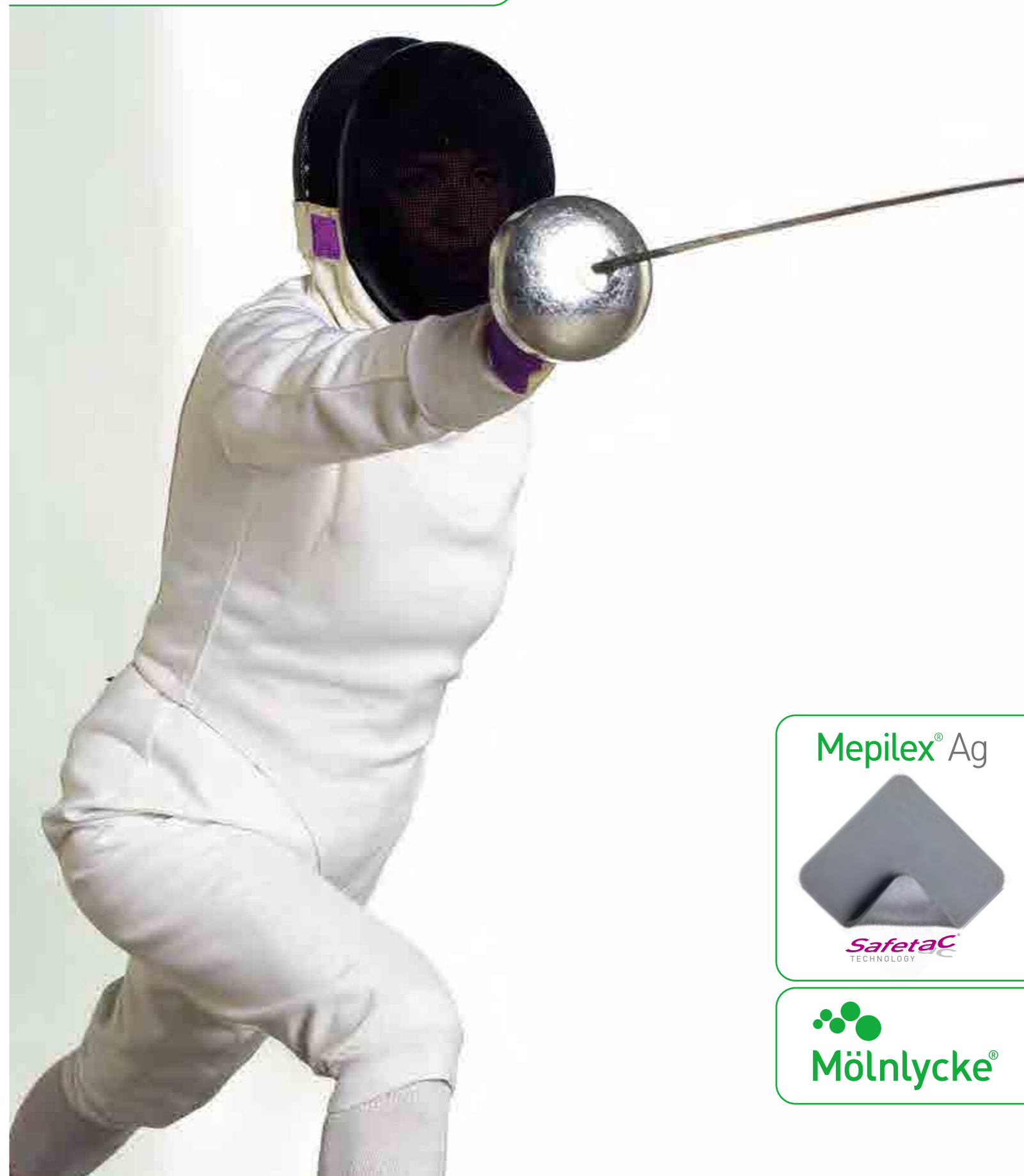
参考文献

1. Taherinejad and Hamberg. Antimicrobial effect of a silver-containing foam dressing on a broad range of common wound pathogens. Poster publication. World Union Congress, Toronto, Canada 2008.
2. White R. Evidence for atraumatic soft silicone wound dressing use. Wounds UK 2005; 1 (3): 104-109.
3. Data on file.
4. Dykes PJ et al. Effects of adhesives on the stratum corneum of the skin. Journal of Wound Care 2001; 10: 7-10
5. Chopra, I. The increasing use of silver-based products as antimicrobial agents: a useful development or a cause of concern? Journal of Antimicrobial Chemotherapy 59, 587-590 (2007).
6. Silverstein P, et al: An Open, Parallel, Randomized, Comparative, Multicenter Study to Evaluate the Cost- Effectiveness, Performance, Tolerance, and Safety of a Silver-Containing Soft Silicone Foam Dressing (Intervention) vs Silver Sulfadiazine Cream. Journal of Burn Care and Research 32(6): 617-626, 2011.
7. White R., A Multinational survey of the assessment of pain when removing dressings. Wounds UK 2008; Vol 4, No 1.
8. Bowler, P.G., Duerden, B.I. & Armstrong, D.G. Wound microbiology and associated approaches to wound management. Clinical and Microbiological reviews 14, 244-269 (2001).



Mepilex® Ag

メピレックス® Ag



Less pain. Less trauma.

メンリッケヘルスケアは、ソフトシリコンを用いた、痛みや組織損傷の少ない創傷被覆・保護材を開発し、患者様の視点からの“アウトカム”向上を提唱しております。

製造販売業者

メンリッケヘルスケア株式会社
東京都新宿区西新宿6-20-7
コンシェルシア西新宿タワーズ ウェスト
TEL: 03-6914-5004

製品に関するお問い合わせ

メンリッケヘルスケア株式会社
ウンドケア事業部
TEL: 03-6279-0991

SafetaC®, Mepilex®, セーフタック®, メピレックス® はMölnlycke Health Careの登録商標です。



MHCJPWC-201702-01 MXX10003-3

Mepilex® Ag



Mölnlycke®

セーフタック®のやさしさに「抗菌力」が加わりました

皮膚にやさしい抗菌性ソフトシリコン・ポリウレタンフォーム

Mepilex® Ag

メピレックス® Ag

メピレックス® Agは、セーフタック® テクノロジーのやさしさに銀イオンの抗菌効果を組み合わせた、滲出液の管理に優れたソフトシリコン・フォームドレッシングです。ドレッシング交換時の痛みや組織損傷を軽減しながら、細菌をターゲットとした創傷管理を実現しました。



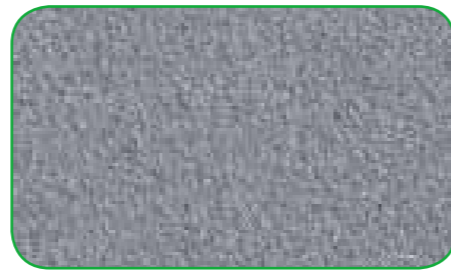
細菌負荷を低下

- 30分以内に抗菌作用を発揮します¹
- 抗菌効果を7日間持続します¹
- MRSAを含む幅広い細菌に対する^{1,3} 抗菌性を有しています



セーフタック®は「痛み」と「組織損傷」を軽減

- 湿潤している創床には固着しません
- 皮膚の組織損傷を軽減します
- 皮膚に密着し創縁をシーリングすることで浸軟を軽減します



フォームドレッシングによる滲出液管理

- やわらかく高い追従性で皮膚に貼付でき、患者様が快適に過ごせます
- 滲出液管理に優れています
- カットして使用できます

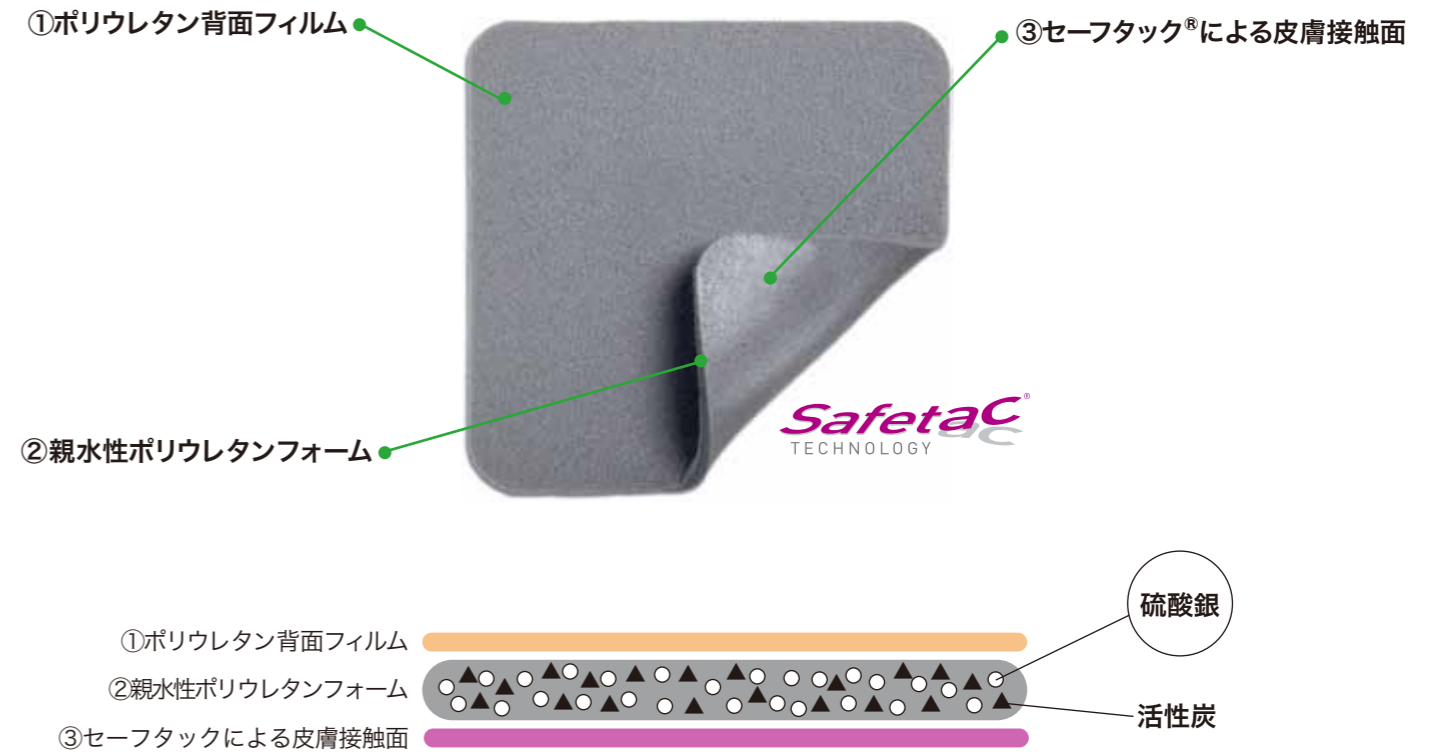


SafetaC
TECHNOLOGY

メピレックス® Agの特徴

- ドレッシング交換時の痛みと組織損傷を軽減します。^{2,4}
- 速やかに持続性のある抗菌作用を発揮します。
- 創部に適度な自着力で密着するので、ドレッシングを手で押さえることなく、圧迫包帯や固定用ドレッシングを適用できます。
- 創の形や大きさにあわせて切ってお使いいただけます。
- 創の状態に応じて、数日間お使いいただけます。
- セーフタックのドレッシング材は低アレルギー性で皮膚かぶれなどのリスクを軽減します。
- セーフタックのやさしい自着力で、脆弱皮膚の患者様にも安心してお使いいただけます。

メピレックス® Agの構造



セーフタック®テクノロジー

セーフタックはメンリッケヘルスケアが開発したソフトシリコンを使用した粘着技術です。セーフタック粘着技術を使用したドレッシング材は、ドレッシング交換時の患者様の痛みや創床及び創周囲皮膚の組織損傷のリスクを軽減します。

従来の粘着剤

皮膚凹凸部の一部分にのみ粘着剤が接着するためドレッシング交換時に、粘着剤接触部に強い力がかかり、表皮剥離のリスクがあります。



セーフタック®

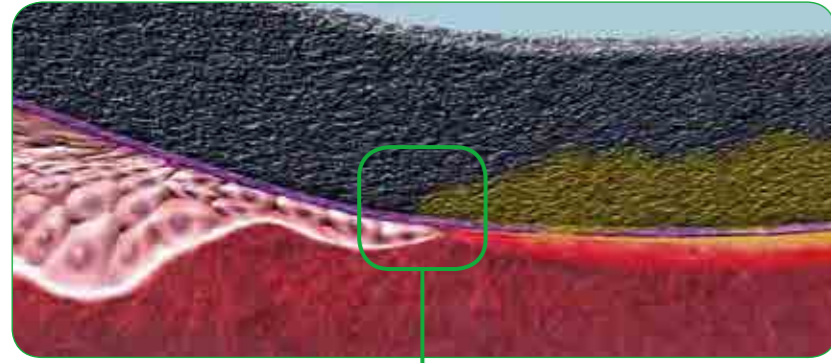
皮膚の凹凸部に密着し、広い接触面で固定力を確保しているため、ドレッシング交換時の表皮剥離のリスクを軽減します。



当社救急絆創膏との比較(自社データによる)

メピレックス® Agの抗菌性

Mepilex® Ag



抗菌効果—3つの特徴

即効性:
 滲出液に接触すると30分以内に銀イオンを放出し抗菌作用を発揮します¹

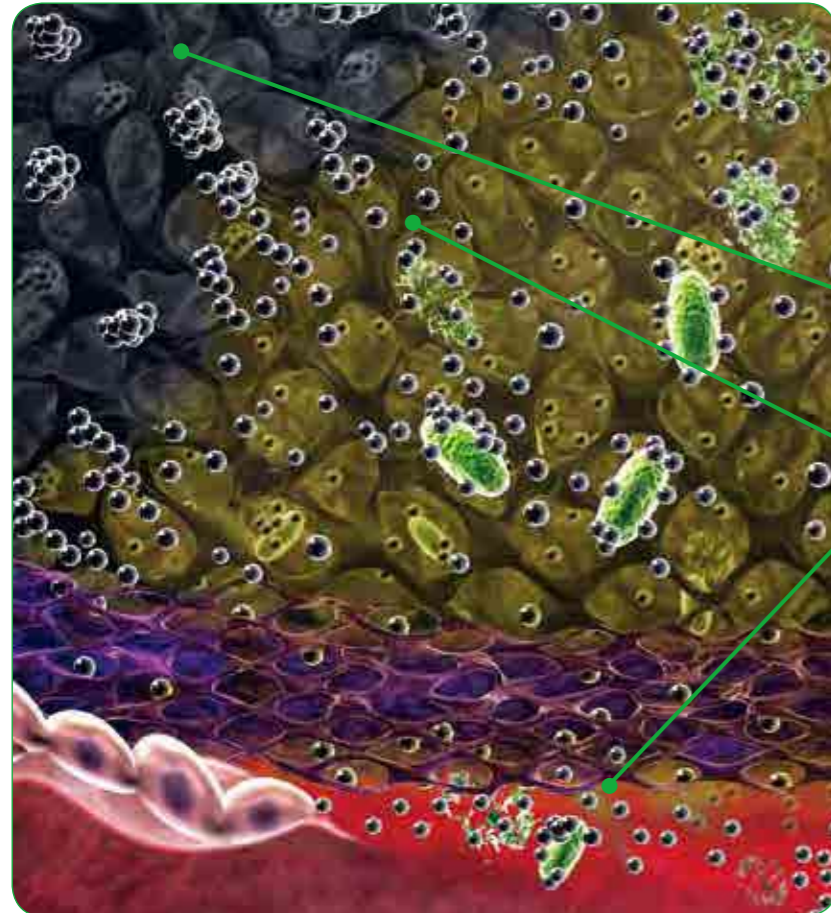
持続性:
 効果は7日間維持します¹

広い抗菌スペクトル:
 MRSAを含む病原菌に抗菌性を発揮します^{1, 3}

メピレックス® Agは硫酸銀を含有しており、硫酸銀は滲出液に接触すると銀イオンを放出します

乾燥した環境では銀粒子は不活性

滲出液に接触すると銀イオンを放出し、抗菌性を発揮します



銀イオン——細菌細胞への作用

「摂食や呼吸」の阻害

銀イオンは細菌の酵素にも結合します。その結果、細菌は呼吸や栄養物の取り込みや分解ができなくなります。

複製の阻害

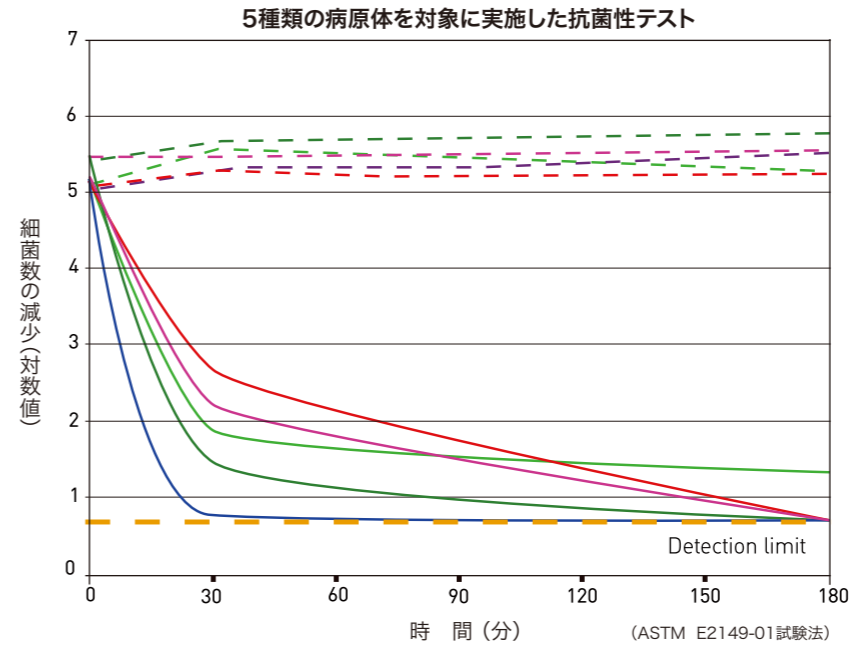
銀イオンは、細菌細胞のDNAにも結合し、細胞分裂や複製プロセスを阻害します。



細胞壁の破壊

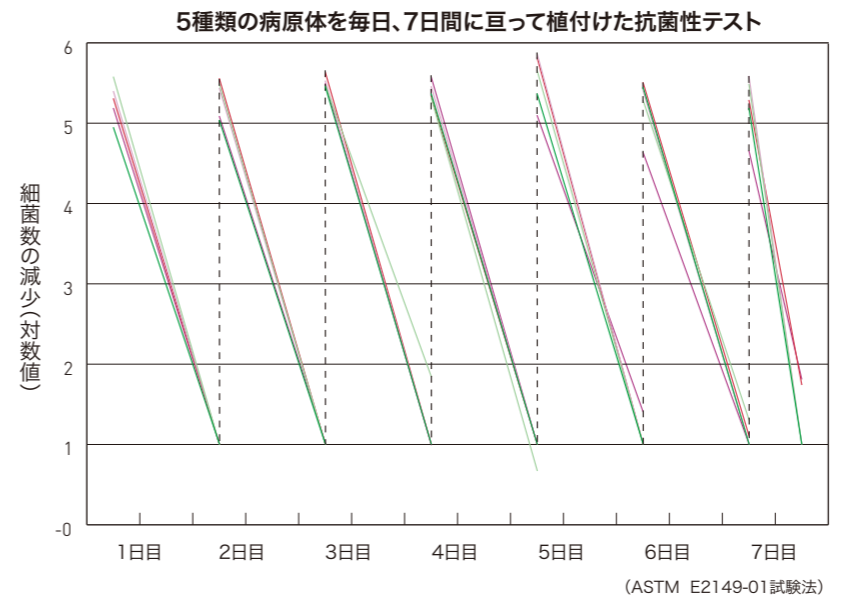
銀イオンが細胞壁のタンパク質に結合すると、細胞壁が崩壊し、細胞の内容物が漏出し、その結果、細菌を死滅させます。

抗菌効果の3つの特性



①即効性

- メピレックス Agは、創傷に関連する病原菌(バクテリアや真菌類)を30分以内に不活性化することが示されています。¹
- 銀の溶出性が高いため、30分以内にメピレックス Agは、バクテリアを不活性化し始めます。¹
- 長期間、抗菌剤を使用すると、バクテリアは、その抗菌剤に対して、耐性を持つこともあるので、即効性は臨床で、重要です。⁵



②持続性

- メピレックス Agは、抗菌性を7日間持続します。
- 銀に対する耐性菌の発生リスクを軽減するために、高い抗菌性を維持することが重要です。
- 銀の溶出性が高いため、30分以内にメピレックス Agは、バクテリアを不活性化し始めます。

メピレックスAgに5種類の細菌懸濁液を加え、24時間後に菌の生存数を測定し、再びメピレックス Agに細菌懸濁液を加えるという手順を7日間、毎日実施した。その結果、メピレックス Agは、7日間に亘り持続的に抗菌活性を維持していることを示した。

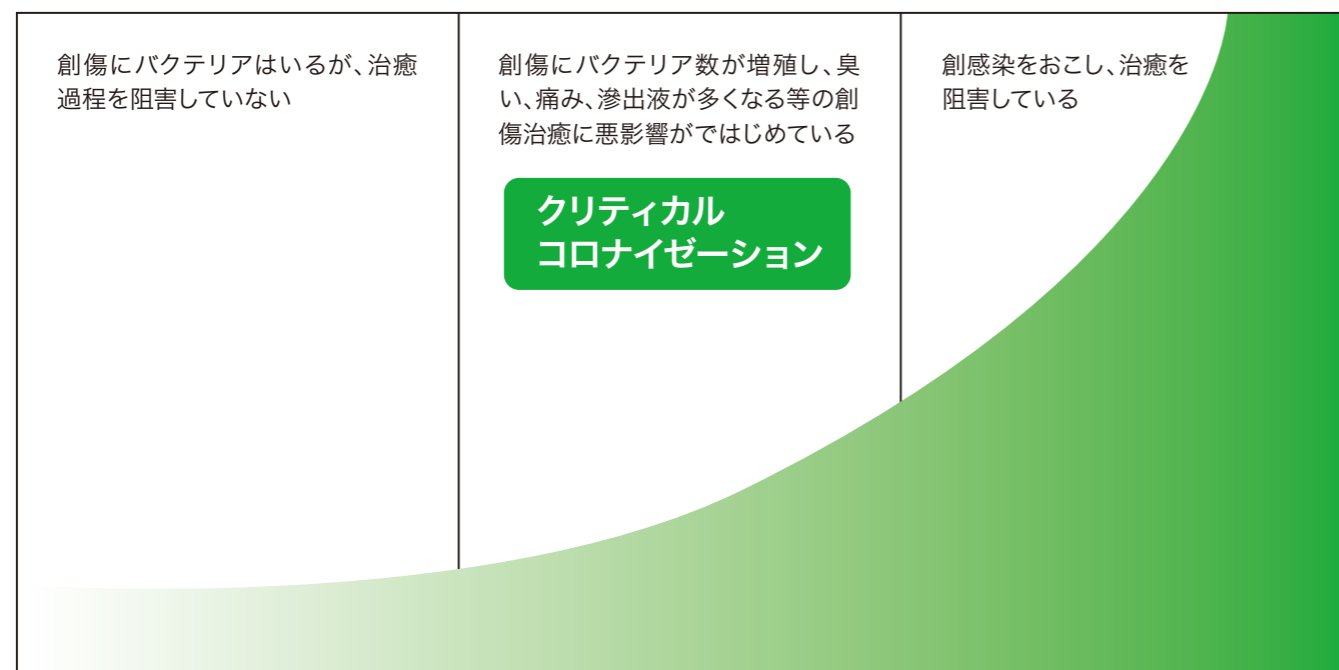
③広範囲の抗菌スペクトルの効果^{1, 3}

メピレックス Agは、創傷にみられるメチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA)、バンコマイシン耐性腸球菌(VRE)を含む広い病原菌(バクテリアや真菌類)を不活性化し、微生物の汚染に対するバリアーとしての役割を果たします。

| グラム陽性好気性菌 | グラム陰性好気性菌 | 嫌気性菌 | 真菌 |
|--|--|---------------------------------------|--------------------------------------|
| セレウス菌 乳酸球菌 化膿レンサ球菌 バンコマイシン耐性腸球菌(VRE) フェシウム菌 黄色ブドウ球菌 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌(MRSA) | アシネトバクター・バウマニー アエロモナス・ハイドロフィラ 汚物腸内菌 多剤耐性セラチア プロテウス・ブルガリス クレブシエラ菌 サルモネラ菌 緑膿菌 | ウェルシュ菌 フィネゴルディアマグナ バクテロイデスフラジリス | カンジダ・アルビカンス Candida guilliermondi |

メピレックス® Ag

メピレックス® Agの使用時期



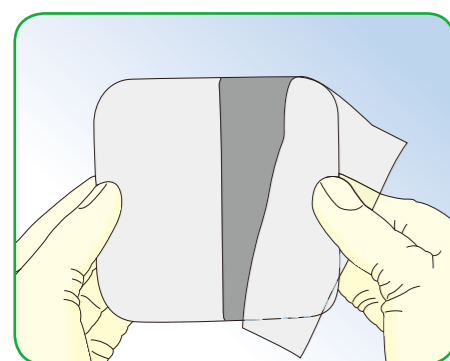
銀の含有されていないドレッシング材の使用を推奨

メピレックス® Agを推奨

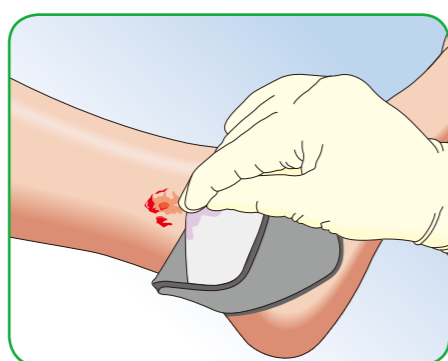
抗生物質の投与等を推奨。状況によっては、メピレックス Agとの併用も検討可能。



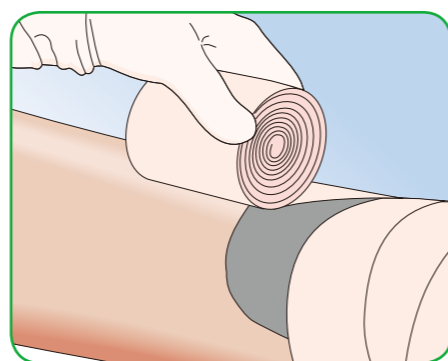
メピレックス® Agの使用手法



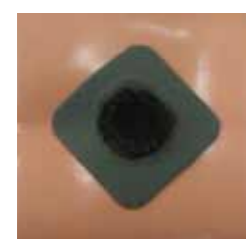
創部や周辺皮膚を洗浄します。剥離フィルムを剥がします。



創の周辺部より2cmほど大きく、周辺皮膚を十分に覆うサイズを引っ張らずに貼付します。



必要に応じて、テープ、包帯などで固定してください。



メピレックス® Agの交換時期

創部の状態に応じて、数日間お使いいただけます。

メピレックス® Agの固定には
皮膚にやさしい伸縮性包帯
Tubifast®
チュピファースト®



メピレックス® Agの適用部位

メピレックス Agは多様なサイズを取り揃えており、体の様々な部位に対応できます。また、創の形や大きさにあわせて切ってお使いいただけます。



腋窩



仙骨部



踵部

メピレックス® Agの適用症例

メピレックス Agは、下腿潰瘍、褥瘡、熱傷などの創傷に適しており、圧迫包帯下との併用にも適しています。皮下組織に至る創傷で中等量の滲出液があり、細菌数が多くなり創感染に移行しそうなクリティカルコロナイゼーション期の使用をお勧めいたします。



下腿潰瘍



熱傷



糖尿病性足潰瘍

ケーススタディ

熱傷



受診時



メピレックス Agで処置
※必要に応じて包帯等で固定して下さい。



9日後

クリティカルコロナイゼーションの兆候にある静脈性潰瘍



潰瘍2か所
6cm/2cm



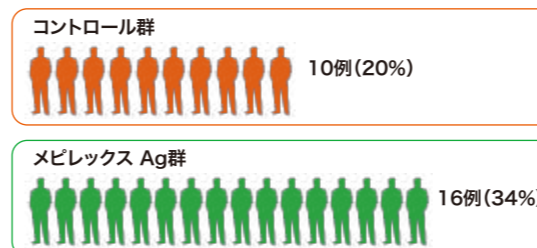
2週目
治癒/2cm

臨床試験⁶

メピレックス Agの創傷治癒及び創傷ケアに関わるコストに関して、スルファジアジン銀(SSD)クリームをコントロール群としてII度熱傷患者101例(2.5%~20%BSA)に対して多施設オープン無作為比較試験を実施し評価した。また、疼痛を含む機能性や使用感及び安全性についても評価した。

創傷治癒

1週間後の治癒例は、コントロール群では10例(20%)であったのに対し、メピレックスAg群では、16例(34%)と有意に多かった。



鎮痛剤使用量の軽減

メピレックス Ag群では、鎮痛剤の使用量が少なかった。(緑色の部分がドレッシング交換時に投与される鎮痛剤の1週間の平均コストに関する鎮痛剤の使用)

